

考

第八十一回 「愚か者」と詰み将棋再び

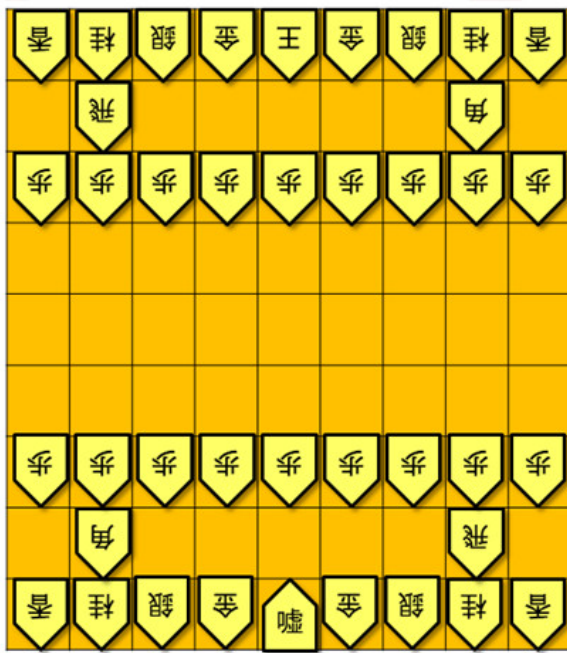


図2

弦楽器イルカ ⇄ 友人



目次

第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～G から U へ～	1
第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～U から G へ～	4
第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～G からUへ～	7
第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～U から G へ～	10

第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～G から U へ～

次の記者会見であの人が、「愚か者」を歌うしかない。社長と副社長はさりげなくバックでギンギラギンに踊る。

その後、こうなったら正直に全部話す。嘘はダメだから。元長男、最後のご奉公だよ。

ファンとアンチの争いに右と左が加わり、そこにお粗末な事務所の嘘が刻一刻と厚塗りされて、この国の恥が拡散され続けてる。

公式の発言や明確な事実でさえ、少しでも自分に都合のいいように曲解して同情の甘みに浸りたい人間が多すぎる。

社長が「知らなかった」と言った時点で詰んだ将棋だよ。「それはない」の一言で投了して、すべてのアイドルビジネスは終了、事務所とは一切取引をしない、ファンクラブも自然解体。

マスコミや大人に分別さえあれば、事務所が延命したいだけの罪将棋会見なんて誰も相手にしない。(図 2)

なのに、万が一「知らなかった」とすれば、なんて悠長なこと言ってるうちに、いつの間にか詐欺に騙されてる。そりゃ、お花畑のお人よし国民って言われるよ。万が一はない。

そっから先は、少しでも分別のある大人が諭さないで。

「知らなかった、はありえない。隠蔽されていた事実が公表された以上、一旦立ち止まって、自分が一体誰の何をなぜ応援していたのか、一度は考えないといけない。今までと一緒にの社会ではないのだから。

いつファンをやめてもいいし、いつファンを再開してもいいのがファンだ。もし、やめたら裏切ったことになる、少しでもファンを休んだら自分を許せないと思うなら、それはファンというより依存であり、身を亡ぼす危険もある中毒にも発展する。

勝手に相手に同情して可哀想って忖度するのは、そういう自分に酔って自己憐憫したいだけの醜い子豚だよ」

本来はアイドル自身が、そうやってファンに声をかけないと。ファンを本当に愛してるアイドルなら、それくらい言えるよ。それが言えないなら、金で嘘を売買したいだけの偽ドルだ。

A T Mで振り込め詐欺から被害者を守った人は警察から表彰される。絶対嘘である証拠はなくても、A T Mからの振り込みを阻止することは、社会の治安維持にとって大切な防犯活動だ。

翻って、昔から今も明らかな嘘と隠ぺいを繰り返す事務所を野放しにする社会は、果たして健全なのかね？ 身近な人が振り込む前にロマンス詐欺的な可能性を疑うべきじゃないかと俺は思う。

「私にとって良い子であるように努力しろ。辛くても我慢して笑え」って毒親が作った会社なら、「毒ファンにとって良いアイドルであるように努力しろ。性的搾取も我慢して笑え」「毒アイドルにとって良いファンであるように努力しろ。働いて我慢して金を出せ」って毒推ビジネスしても、全然不思議じゃない。まともじゃないだけで。

「好きなアイドルの主演映画だけど、監督が事務所に苦言を呈したから観ない」「アイドルなら事務所の主張をちゃんと理解してから発言しろ」とか毒推しても、誰も何も応援してないし誰も得しない。

事務所は必死で被害者やメディアやスポンサーや一般視聴者をつなぎとめようとするのに、被害者やメディアやスポンサーや一般視聴者を誹謗中傷して攻撃するのは事務所の足を引っ張る毒ファンでしかない。

毒事務所の嘘もお粗末だから、一部の毒ファンがお粗末なのは仕方ない。ただ一般論として、所属アイドル全員がお粗末さんではないだろうし、ファン全員もそうだろう。

そうでなければ将来、解散請求が出て不思議ではない宗教組織になってしまいかねない。

今回はそれだけ。どうかな、もなし。



第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～U から G へ～

ジャニーズ問題は難しすぎる

目には目を歯には歯を

ハンムラビ法典は有名だけど、これを見て古代人は野蛮だと思っはいけない。きちんと考えてみると、これは野蛮な復讐を推奨しているわけではなく、むしろ逆で、やられたらやり返す倍返しだ！ 10倍返しだ！を禁止して、罪の量だけきっちり罰を与えるぞ、というものであるし、個人的な復讐の代わりに王様の元で罪を罰するので、皆の衆は安心しろ、という方針でもある。ハンムラビ法典は法による秩序の原点だし、罪と罰のエッセンスが一言に詰まっている。

だが、目には目を歯には歯をの論理では解決できない問題は山ほどある。

ジャニーズ問題を考える。ジャニー喜多川氏は平穩に死んでしまったが、もしジャニー氏が生きていたとしたら、彼にどんな罰を与えたら良いだろうか？ 目には目を、○○には……（自主規制）

性被害問題がややこしい最大の原因はダメージがわかりにくいことにあると思う。目を失った、歯を失ったとかではなく、被害者は人間の尊厳を失ったというわけである。目に見えないので、本人以外には罪の大きさはわからない。

他にもセクハラ、痴漢、盗撮、ロリコン犯罪など、性犯罪は全て心理的なダメージに対する罪である。そのため被害者以外の他人にはダメージの度合いがわからない。同じ行為でも、殺人レベルの大罪なのか、もう少し弱い罪なのか、嫌がらせなのか、許容範囲なのか、場合によっては、むしろ嫌では無い、さらには望んでいる、死んでもいいくらい望んでいることすらあり得る。すべては被害者の心理次第なのだ。

被害者の心理次第で、一つの行為がマイナス無限大からプラス無限大まで、最悪から最高までがありえる。こんな性犯罪に対して、どうやって罪と認定し、量刑を測り、罰を決めていくのか。おそらく答えは出せないだろう。

ジャニー喜多川氏はすでに他界しているので、司法上は罪に問うことはできない。これが一つの答えか。今、世間でもそうなっているように、現実的にはジャニーズ事務所とタレントのこれからの考えることしかないかもしれない。

性犯罪はそもそもの司法制度を揺るがす可能性があり、人が人を公正に裁くことの難しさと相まって、闇に葬られるかもしれない。

問題を難しくする要素がもう一つある。

罪は罪として、一方のジャニー喜多川氏の功績はどうだろうか。私は彼が日本にとってもなく偉大な影響を与えたと考えている。

ソフトパワーという言葉がある。ハードパワーとは、国のGDPや、技術力、科学力、軍事力を指すのに対して、ソフトパワーとは数値では表せない文化や観光資源、外国からの好感度などを示した言葉だ。日本は極めてソフトパワーが強い国で、アニメ、ゲーム、自然、歴史遺産、食文化などが世界中に知られている。その上で日本好きのアジア人の女性に「日本の何が好きか」を聞いたら、半数くらいはジャニーズと答えるだろう。今では韓流アイドルが台頭してきているが、日本のジャニーズ人気は特にアジアで根強いものがある。

ソフトパワーはある意味ハードパワーより重要だ。ソフトパワーが強い国は、おそらく外国からの侵略を受けにくい。フランスのようにソフトパワーを持っておきながら何度もドイツに侵略されることもあるかもしれないが、想像するに世界中に日本ファンがいて、日本の味方の世論があれば、かなりの戦争抑止力になるだろう。ウクライナには申し訳ないが、ウクライナの魅力について知る人は世界でもかなり少ない。今でこそ、アンチロシアという立場がありアンチロシア自体がウクライナのソフトパワーかもしれない。それなりの支援を受けているのは、そういうことだと思う。

日本の味方の国が多ければ多いほど、守りやすい。そういう意味で、日本の自衛隊と同じように、ジャニーズは日本の国を外国からの侵略から守る力になっていると思われる。

侵略は大袈裟としても、結果的にはソフトパワーは観光力など国の魅力の底上げに非常に大きな貢献をする。その中でも大きな影響があったのがジャニーズであり、それを作り上げたのがジャニー喜多川氏であることは間違いない。こんなことは世間に向かって話せないが、事実として無視してはいけないと思う。

貢献と罪は相殺できるものではなく、どんなに良い結果を出したとしても、罪が許されることはないと思う。国のために個人が犠牲になる必要はないので、今後は同じ悲劇が繰り返されない方が良いとは思っている。だがどうしても、もう一方の考え方では、ジャニー喜多川氏の貢献を無視することもできない。結果的には、ジャニーズは日本全体に見えない大きな利益をもたらした。

水と油のように混ざることのない議論がこれからも続くかもしれない。複雑すぎて結論は出せないが、ジャニーズ問題は、そもそもの性犯罪の難しさ、貢献と罪という相反するものの扱いについて、あまりにも深い問題意識を投げかけたと思う。



第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～G からUへ～

毎回、俺と真逆か、全く別の切り口から書いてくれるからありがたい。

Uの話にタイトル付けるとしたら、「喜多川を後世はどう評価するか」ってことだと思うんだけど。一応ツッコませてもらうと、今この国でそこ真剣に悩んでるの、Uしかない？

今そこ!?! まあわざと強めに書いてるけど。

喜多川は偉大なプロデューサーにして、悪質な性加害者だろう。一部報道では、13歳の誕生日を狙って、確信犯的に脱法して性的虐待してたって話もある。

前も書いた通り、この国の法律では罪にならない可能性もあるし、まだ残ってる時効もあるそうだけどそれも訴えがあるかわからない。被害者の補償額もわからない。

一方、この国のエンタメを世界に発信したって意味ではその通りだと思う。俺が好きじゃないからって、その影響を過小評価するのは間違いでしょう。

社会はその功績を否定すべきなのか、功績は功績として評価すべきなのか。アイドル帝国を作り上げた裏には「脱藩者には制裁を」「アイドルには粉飾を」って圧力や、前から言ってる様々な権力組織とのつながりもセットだったから、虚飾ではない真の功績を見極める必要もある。

ただこれからの事務所とアイドルと被害者の未来を阻むのは、間違いなく現体制の隠蔽と嘘だ。「とにかく未来だけに目を向けろ」って必死に擁護するファンも多いけど、嘘つき事務所の未来に協力するのはむしろ悪だと思う。嘘つき事務所に所属し続けるタレントも嘘仲間だろう。

努力と才能さえあれば、大手事務所を辞めても輝けるのは、のんが証明したよ。銀河系を脱出せずとも、退社後の方が好きなことできる可能性さえある。佐久間さんやフワもそう。

「推しは事務所がないと輝けません！」って、アイドルを一番バカにしてるのは毒ファンじゃない？ 毒親の発想で、アイドル自身が苦痛かどうかに関係なく、毒ファンにとって都合良い方向に推ドルを閉じ込めてんだとしたら、それこそ毒推し以外の何物でもない。

盛者必衰の業界で、他を蹴落としてきた脱法事務所だけが未来永劫、繁栄できる理由もない。タレントに罪はないって、罪がなくともメディアに出れない奴はごまんという。それでもどうしてもタレントに罪がないって言うなら、もう赤ちゃんと野生動物だけ観ればいい。一番罪がないから。「だー」とか「あー」って言うだけのトークや恋愛映画を観続ければいい。

あとバカバカしいからずっと書かなかったけど、「タレントに罪はない」って言葉自体、定義がおかしい。「罪」って、具体的に刑法第何条に書かれた罪のことなのか。それとも道義的な意味なのか。

今のところ、ただ主観で「はい、死刑」「はい、無罪」って言うだけの、気まぐれ裁判官のおまかせ「罪」に、何の根拠も重みもない。

個人の思い込みで無罪判決を垂れ流す「善意の第三者」の方が、むしろ有害で有罪だ。（最近ずっと観てる、「弁護士芸人がやる『逆転裁判』」の影響。Uと昔やったゲームだけど、自分でやるより何倍も面白い法律の勉強になる動画だった）

立場や感情から出た屁理屈は、合理的な理屈ではない。信者しか騙せない教えは、一般社会ではむしろ有害でさえあると思う。

最後にちょうどいい機会だから、前から言いたかった「UNKNOWN STUDIO」って番組が半年に一回くらいあって、まだTVerで観れるんだけど。

一言でいうと、まず知らんアーティストが出てきて、そいつの紹介をするかと思いきや、その知らん奴が更に知らん奴を紹介する番組で。しかも「テレフォン・ショッキング」形式じゃなくて、次回も更に知らん奴が出てきて、その知らん奴が完全に知らん奴を紹介するって、知らん奴量産番組。

この国にも、若い才能のある無名人はいっぱいいるって感心するよ。別にアイドルじゃなくても、応援したくなる頑張ってるアーティストはいるよ。

ひと段落ついたしこんなもんかな。俺はこれ以上つまらない罪将棋を詰むつもりはない、冷たい言い方でも、「マ人間、マ行にこだわる」だから。全体的に少しでも社会が公平に向かうよう注視して、個人の小確幸を得られるように自分で自分を守るしかない。

いつもと同じ結論に辿り着けたので、Uへの感想としてはこんな感じ。
どうかな？



第八十一回「愚か者」と詰み将棋再び～U から G へ～

真面目が是が非か

ビッグモーターも社名変更か？ のニュースを見て、久しぶりにほっこり気分になった。

さて、ツッコミはマスコミの仕事。これまでジャニーズと仲良くできなかったマスコミはチャンスの順番が回ってきた。さあ仕事しよう。ジャニーズ事務所に逆らえなかったメディアは、攻撃しきれないから、そりゃ別の場所で反省してまーす、って番組作って、そういうしかないよね。でも、マスコミはツッコミ役、何か言うしかない。

反省してまーす!? あ、この雰囲気この言葉で思い出した。パンクカー五輪の時の K 選手もこんな気持ちだったに違いない。(僕にはスノーボードの選手としてスノーボードの文化を広める立場にあるからさ、あんなきちんとした服着てきちんと整列なんてできないですよ。気に入らないのはわかるけど、そこは適当に受け流してくださいよ。みなさんにも僕の立場わかって欲しいけど、まあ国民の皆さんがあるからマスコミさんたちは僕を非難するしかないよね。それもわかる。じゃあこう言うておこう)「チッ、ウッセーな。反省してまーす」

ジャニーズの立場はしらばっくれるだけ。それぞれ立場があるよね。わかるよ。まさに茶番劇だよ。別の場所で真面目に補償はしていくからいいじゃん。

ジャニオタは昔からみんな知っていた。性被害は噂ではなく事実である、と。知らないのはニワカ。少なくとも裁判後は確定しているから、20 年以上前から。性加害を知っていて黙ってたのはマスコミだけではない。世間が知っていた。だから別にマスコミだけが反省する必要はない。オタではない視聴者も含めてみんな悪意ある傍観者だ。

でも国民みんなが反省する必要もない。それは真面目すぎる。

まず田代〇さし大先輩の意見も聞いてみよう「え？ 俺はいつのまにか犯罪者？ ひどいよみんな一緒に笑ってたじゃんか。ねえ、志村さん」相変わらず田代〇さしさんは笑えます。。

でも、みんな笑ってたし、テレビが好きだったじゃん。
昔は性被害は問題ではなかった。でも時代は変わった。MeToo 運動もそう、世界の
Taboo が変わっただけだ。y o u そうだろう？



考えるウマシカ～第八十一回 「愚か者」と詰み将棋再び～

著 弦楽器イルカ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
